



「うたごえの会」よりご案内

♪ 一緒に楽しく歌いましょう! ♪



作新台自治会「うたごえの会」は、この6月15日で60回目の開催となります。「歌うのはちょっと緊張しそうで」「人の集まりに行くのが少し不安で」・・・という方が見学に来てくださることもあります。たしかに「うたごえ」と聞くと、元気よく歌って、皆で盛り上がる場所を想像されるかもしれませんが、でも実際は、知っている歌だけ口ずさむ方、静かに聴いている方、休憩時間のおしゃべりや小話を楽しみに来られる方、天気の良い日だけ往復歩いて運動の代わりに・・・と皆それぞれ自由に過ごせる気楽な会です。予約も必要なく、各自の都合により、途中からの参加や早く帰ることもできます。どうぞいつでも見学にいらしてください。

さて、今号では「昭和の作新台の風景」「昭和歌謡エピソード」「懐かしの昭和クイズ」などを取り上げてみました。

昭和の作新台の風景

なにもなかった作新台



現在の作新台の場所に住宅が建つようになったのは昭和40年代からです。そのころの地名は「長作町」でした。あたり一帯は杉林・ヨシが生い茂る草地・大根畑・茶畑などでした。まさに「原野」という風景です。なにしろ当時は商店などがほとんどなく、ここに住み始めた人たちは実籾の駅前まで買い物に出かけました。お店では「おや、『長作村』の人ですか。遠くからありがとうございます!」と言われたそうです。

八千代台駅で長靴を下駄箱へ



昭和歌謡に「♪長崎は今日も雨だった」という歌がありますが、当時「♪長作は今日も土ぼこりだった」です。すべての道路が砂利道でした。風の強い日は、家の中に土ぼこりが入りザラザラになりました。雨の日はどの道もぬかるんで、靴は泥だらけとなる始末。京成電車で会社に出勤する人は、雨の日は家から長靴を履いて替えの靴を持って八千代台駅まで歩き、駅の下駄箱に長靴を入れて会社へ向かったそうです。

買い物は八千代台駅前と花見川団地へ



昭和50年代になると、八千代台にユアエルム、十字屋ポポ、西友などの大きな商業施設ができ、また花見川団地の商店街も充実しました。作新台の人達の買い物はとても便利になりました。花見川団地には一時2万人以上の人が住み、団地の商店街は買い物客が大勢集まり大盛況でした。

みんなが懸命に走った地区運動会



これも昭和50年代の風景ですが、作新小学校の校庭で年一度の地区運動会が盛大に行われました。多くの家族が手作りのお弁当を持って集まりました。運動会は地区に分かれての得点制の競争、優勝を目指して大きな声援が送られました。プログラムの最後を飾るリレーは毎年大盛り上がり。運動不足の大人たちも「我がチームのために」と、転びそうになりながらも頑張った姿が印象的でした。

「なにもなかった昭和の作新台」も、令和の今はスーパー、ドラッグストア他大型店が増え、交番、消防署、郵便局、小・中学校、病院なども近く、住みやすい街に成長しました。これも歴代自治会長さんや、役員の方々のご尽力と、住民の方々のご協力のおかげです。

- ① 田舎の田舎 ② 田舎の田舎 ③ DDT ④ 田舎の田舎
- ⑤ 田舎の田舎 ⑥ 田舎の田舎 ⑦ 田舎の田舎 ⑧ 田舎の田舎
- ⑨ 田舎の田舎 ⑩ 田舎の田舎

♪ 6月～10月の開催予定 ♪

★ 予約不要
★ 自由参加

< 毎月 第1・第3 月曜日 >

6月	1(月) 15(月)
7月	6(月) 20(月)
8月	3(月) 17(月) 31(月)
9月	21(月)
10月	5(月) 19(月)

日程変更のお知らせ

● 会場の都合により
8月の開催は3回、
9月は1回となります

● 7/20および9/21は
祝日ですが開催します

◆ 時間 10:00 ~ 11:30

◆ 歌詞ファイルは会場にご用意しています

◆ 場所 作新台自治会館 1階

◆ 会費は無料です

☆ 昭和歌謡エピソード ☆

♪ 嫁に来ないか

昭和51年、新沼謙治の「嫁に来ないか」がヒットすると、岩手の実家には多くの女性ファンがやってきました。彼女達は履歴書を持参し、その目標欄には「新沼謙治さんのお嫁さんになること」などと書かれていたそうです。結果的に全国から数百人もの女性が来たと言われ、たまたま何人も重なって訪れたときは新沼の祖母が「泊まっていけ～」と言って泊めてあげたこともありました。

♪ 人生いろいろ

「東京だヨおっ母さん」「人生いろいろ」などの大ヒットを飛ばした島倉千代子。彼女は歌手になる前に、NHKの「のど自慢」に出たことがありました。しかし結果は残念ながら「カネひとつ」。歌手になってからは、知人に騙されて20億もの借金を抱えることになりました。その借金は仕事で頑張り7年かけて完済しました。人生いろいろですが、やはりこの人は「カネには縁がなかった」ようですね。

☆ ミヤコワスレ

昭和59年の「NHK紅白歌合戦」で、都はるみがこのステージを最後に引退することになりました。その大切な場面で、司会の生方アナが都はるみを「ミソラ・・・」と間違えて紹介してしまいました。もちろん相手は美空ひばり。昭和を代表する大歌手です。この出来事は週刊誌にも取り上げられ、大きな話題となりました。その後の生方アナの心境はわかりません。ただ、もし退職後に庭いじりを趣味にしていたら、様々な花の中でも「ミヤコワスレ」だけは育てるのをためらったかもしれません。

懐かしの 昭和クイズ



- ① アツパツって何?
- ② 昭和19年、北海道で突然生まれた火山は?
- ③ 頭にかけてシラミを退治した白い粉を何という?
- ④ 昭和20～30年代に多い、よく吠える白い犬の種類は?
- ⑤ 昭和30年代、女子の体操服は〇〇〇〇ブルマー
- ⑥ 高度成長期、地方から集団就職した若者を何という?
- ⑦ スプーンを曲げた超能力者は誰?
- ⑧ 初めて日本にやってきたパンダ2頭の名前は?
- ⑨ NHKの朝ドラで最高視聴率をとったドラマのタイトルは?
- ⑩ 平成元年導入の消費税、最初は何パーセント?